



MIZUKI ONOJO KIJO
CHIKUSHINO CITY-KASUGA CITY
ONOJO CITY-DAZAFU CITY
UMI TOWN-KYAMA TOWN
1350th

入場
無料

水城築造1350年

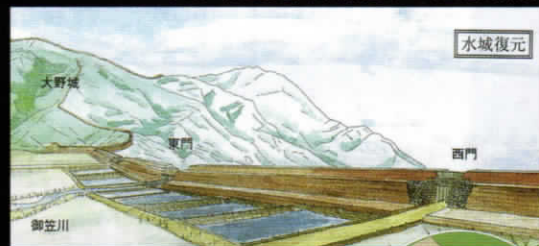
プレ記念講演会

- ここまでわかった水城の構造 -

水城の復元想定図(画像提供 九州歴史資料館)



特別史跡水城跡の全景(東より)



東門付近で発見された木樋の取水口(画像提供 九州歴史資料館)

平成26年に築造1350年を迎える特別史跡水城跡は、我が国で最初に造られた国家レベルの防衛施設で、『日本書紀』天智3(664)年の記事にその名が登場します。

この巨大な遺跡は今から100年前の大正2(1913)年に、国鉄(現JR)鹿児島本線の拡幅工事に際して東京帝国大学の黒板勝美らにより調査されたことに始まり、昭和45(1970)年より福岡県、九州歴史資料館、太宰府市、大野城市により発掘調査が続けられています。

水城跡が築造1350年になることに際して、これまで集められた膨大な調査資料から、「筑紫に大堤を築きて水を貯えしむ。名づけて水城と曰う」という『日本書紀』に記述された水城跡の、門や濠、木樋、瓦窯跡、経塚跡などの解説を通じ、知られざる水城の構造や機能についてくわしく解説をし、築造1350年を迎える特別史跡水城跡の存在の意義を考えます。

平成25年 **12月21日** 土
開場9:30 10:00~12:00

九州国立博物館ミュージアムホール

事前申し込み不要 先着280名

講演者

杉原 敏之

九州歴史資料館 学芸調査室 調査研究班長

井上 信正

太宰府市教育委員会 文化財課調査係 主任主査

主催：太宰府市 太宰府市教育委員会

お問合せ

太宰府市役所文化財課

電話092-921-2121(内線472)

水城年表

元号	西暦	水城にかかわる事象
斉明6	660	百濟滅亡
天智2(称制)	663	白村江の戦い
天智3(称制)	664	対馬・杵岐・筑紫に防人・烽を置き、水城を築く
天智4(称制)	665	長門国の城、大野城と椽城（基肆城）を築く
天智6(称制)	667	近江京遷都 高安城・屋島城・金田城を築く
天智9	670	高安城修築、長門に1城、筑紫に2城を築く
天智10	671	天智天皇 没
天武 即位前紀	672	天武(大海人皇子)挙兵 【壬申の乱】
持統3	689	飛鳥浄御原令の制定 筑紫に位記を送り、新城を監させる
持統8	694	藤原宮遷都
文武2	698	大宰府に大野・基肆・鞠智の各城を修理させる
文武3	699	大宰府に三野・稻積の各城を修理させる
大宝元	701	大宝律令制定
和銅3	710	平城宮遷都
養老5	721	大宰府城門、災(ひつけり)
天平2	730	大伴旅人 大納言昇進のため、大宰府を離れる際に水城で歌を詠む
天平神護元	765	大宰少貳采女朝臣浄庭を、修理水城専知官となす
寛弘2	1005	藤原高遠、水城に着き、府官の出迎えを受ける
平安時代後期	～1129	大宰帥源経信の子、源俊頼が京へ上るとき、水城で和歌を詠む
寿永2	1183	平家が大宰府から箱崎津へ逃げる際、水城を通る
鎌倉時代	～1226	藤原光俊（右大弁光俊朝臣）が水城の和歌を詠む
文永11	1274	元寇文永の役で、水城がみえる
文明12	1480	連歌師の飯尾宗祇、水城を通る
江戸時代	17c後半 19c前半	貝原益軒『筑前国続風土記』で水城を述べる 青柳種信『筑前国続風土記拾遺』に「水城附岩垣関」を記す